

## Microsoft Azure ユーザー向けクラウド保険の開発

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、2020年6月23日から Microsoft Azure(※1)のユーザー向けに特化したクラウドサービス専用保険の販売を開始することといたしました。クラウドサービス利用時の不正アクセスによる情報漏えい等に起因する法律上の損害賠償金や、原因調査費用、サイバー対策コンサルティング費用などを補償し、ユーザーが安心してクラウドサービスを利用できるようにいたします。

(※1)Microsoft 社が提供するパブリッククラウドサービス。世界 140 カ国で利用されており、世界のパブリッククラウド市場で第 2 位のシェアを保持しています。

### 1. 開発の背景

パブリッククラウド(※2)の市場は、2024年には2019年対比2.4倍の2兆644億円にもなると言われる成長市場です(※3)。総務省の「平成30年通信利用動向調査」によれば、クラウドサービスを利用している企業の割合は年々増加傾向にあり、一部でも利用している企業の割合は2018年58.7%となっており、企業の約6割が導入している結果となっています。

一方で、サイバー攻撃による被害が社会問題化する中、サイバーリスクに対する企業やサービスユーザー側の備えが必要になっています。また新型コロナウイルスにより、テレワークや在宅勤務の増加など、企業や個人の働き方が変わる中で、ユーザーが安全にクラウドサービスを利用したいというニーズが高まっています。

(※2)利用者を限定せず、企業や個人向けに提供しているオープンなクラウド

(※3)IDC Japan 2020年3月18日「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」より

### 2. Microsoft Azure ユーザー向けクラウド保険の特徴

当社は、Microsoft Azure のクラウドソリューションプロバイダーであるダイワボウ情報システム株式会社(大阪府大阪市)と共同で、2020年6月23日から、Microsoft Azure のユーザー企業向けにクラウド保険(※4)を提供します。このクラウド保険では、Microsoft Azure の障害や Microsoft Azure への不正アクセス等に起因して、ユーザー企業がフォレンジックやデータ復旧等の費用を負担したことによる損害を補償します。まずは同社が企業向けに販売する Microsoft Azure のサービスに、無料で付帯する形で販売・展開していきます。

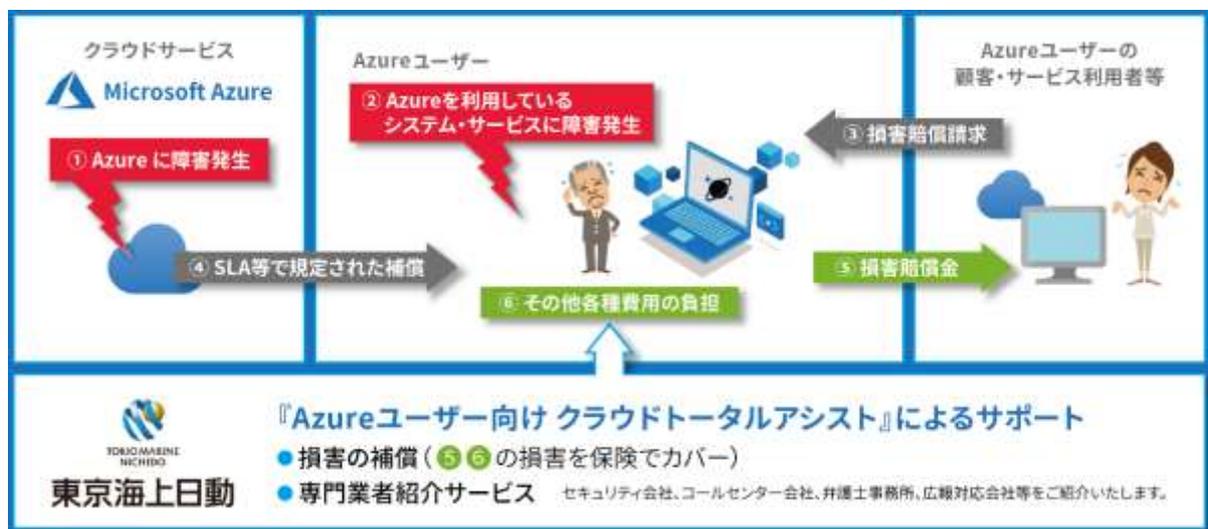
(※4)サイバーリスク保険(クラウドサービス用修正特約条項付帯)のペットネームです。

#### <商品の特徴>

- Microsoft Azure の障害・停止、Microsoft Azure への不正アクセス等に起因して、Microsoft Azure を導入した企業(ユーザー企業)が利用しているシステムやサービスに障害が発生した際に、当該企業が負担する法律上の損害賠償金や、弁護士費用、訴訟費用等を補償します。

- 損害が発生した際には、Microsoft Azure のユーザー企業のニーズに合わせて、当社がネットワークを有する専門事業者（セキュリティ会社やコールセンター会社、弁護士事務所等）を選定し、ご紹介いたします。

### <補償のイメージ>



当社はこれからも、サイバー攻撃による被害をはじめとする社会課題の解決を目指し、お客様の「いざ」を支える商品・サービスの提供を進めて参ります。

以上